

## 平成27年度 第3回定例二宮町社会教育委員会議 会議録

日 時：平成28年2月17日（水）13時30分～15時00分

場 所：二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1

出席者：（社会教育委員） 杉崎實委員長、桐岡眞澄副委員長、井堤悦子委員、  
江見千秋委員、橘川昭夫委員、野村幸雄委員、野谷浩司委員  
（事務局） 府川教育長、宮川教育次長、三浦生涯学習課長、  
小嶋生涯学習班長、丹羽図書館班長、武井生涯スポーツ班長、  
清宮主任主事

傍聴者1名

資料

- ・会議次第
- ・平成27年度社会教育事業報告（平成27年9月17日～平成28年1月31日）
- ・テーマ研究会のまとめ
- ・平成28年度放課後子ども教室チラシ

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 題

#### （1）平成27年度社会教育事業報告（平成27年9月17日～1月31日）

※事務局より資料に基づいて説明。

（委 員）にのみや町民大学「消費者生活に対する悪質商法の最近の手口と対処法」について、県の職員が講師だが、なぜ参加費がかかるのか。

（事務局）資料代として100円をいただいている。

（委員長）資料は講師が持参するのか。

（事務局）講師から提供された資料を町で用紙を用意し、印刷している。受益者負担ということで、持ち帰る資料がある場合には参加費としていただいている。

（委 員）できるだけ多くの方に参加してもらえよう、参加費を取らなくても良いのではないか。

（委 員）平成18年成人祝賀会タイムカプセル開封式について、参加者が3人と非常に少ない。当事者は10年前にタイムカプセルを埋めたことに、興味がなかったのか。残念である。

（事務局）タイムカプセル開封式について、広報やホームページでお知らせした。また、当時の成人祝賀会実行委員会のメンバーに通知を出し、併せて友人にも知らせるよう依頼した。参加者は、当時の成人祝賀会実行委員会のメンバーである。

- (委 員) 成人祝賀会実行委員は何人ほどか。
- (事務局) 各中学校15人ずつで30人くらいである。
- (委員長) 町制70周年の時のみのイベントか。それとも毎年行っているのか。
- (事務局) 町制70周年の時のみである。
- (委 員) 掘り起こした結果はどうだったか。
- (事務局) きれいに残っていた。
- (教育長) タイムカプセルを開封した様子が新聞で報道された。
- (委 員) 取りに来られなかった方はどうしたか。
- (事務局) 10年後の自分へあてた手紙を埋めたので、取りに来られなかった方にはその手紙を発送した。
- (委 員) タイムカプセルはどこに埋めてあったのか。
- (事務局) ラディアン正面玄関の芝生の所である。
- (委 員) タイムカプセルは20歳の時に埋めて、30歳の人たちが開封した、ということか。
- (事務局) そうである。
- (教育長) 体育祭の種目について、どこで検討するのか。人口が減少している中、地区対抗が難しい場合や、種目によっては人数が集まらない状況である。合同チームを作る、新たな種目を考える等、検討が必要だと思われる。
- (事務局) 6月上旬に体育祭の第1回目の会議があり、地区の代表者、体育協会4役、スポーツ推進員4役が競技について議論し、決定している。
- 以前、特定の年代が集まらないので、年代別リレーに参加できないという声が地区からあった。ルールを見直した上でやったらどうか、という意見があり、参加者合計160歳以上なら出場できるようにした。また、民謡踊りは準備運動としては良いが、競技性がないということで、やめた方がいいのではという意見があった。しかし、関係者が活動のPRの場として続けたい気持ちがあったので現在も継続している。会議では、地区が参加しやすい、選手が集めやすい種目にしようという視点で考えている。
- 少年少女ソフトバレーボールは、対象が中学生限定であり、地区ごとに参加者を集めるのが難しいので、地区合同で出ている。今年度からスポーツ推進委員が自分たちで運営をしていて、開催日を2日間から1日にする等、実施方法を来年度に向けて検討中である。
- 継走大会は、今年度、中町と富士見が丘3丁目が参加していない。中町はしばらく出場していないが、富士見が丘3丁目や松根は出場したり、しなかったり交互である。近隣の地区同士が合同で出るのは、参加を促す1つの方法だと思う。スポーツ推進委員の会議において、合同でも良いので参加できないかと毎年声を掛けている。地区長にも同様の話をしている。来年度は全地区が出場できる方法を考えたい。
- (教育長) 社会教育委員会会議でそうした話題も提供していきたい。20地区体制が現状には合わなくなっている。

- (委員長) 体育協会では小学校中学校の各地区の構成人員を参考にしていたが、各地区に子どもがいない状況であった。
- (事務局) そうである。中町のスポーツ推進委員は長く務めている方で、地区の状況をよく把握しているが、声をかけても人が集まらないようだ。
- (教育長) 少年少女ソフトバレーボールはどこが合同チームか。
- (事務局) 上町、中町、下町が合同チームで出場している。また、富士見が丘3丁目と松根が合同チームを組んでいる。
- (委員) ジュニアリーダーは登録制か。
- (事務局) 登録制ではない。ジュニアリーダーは中学生から大学生くらいが対象である。
- (委員) ジュニアリーダー養成研修会は男子7人、女子39人である。ジュニアリーダーは女子が多いということか。
- (事務局) その人数は参加者である小学生の人数である。内容がストラップ作りなので女子に人気だった。
- (委員長) 恵友会の会員数が少ないという話題があったが、その後はどうか。
- (事務局) 会員数が少ない状況は変わらない。今度、ジュニアリーダー養成研修会において、ジュニアリーダーがふるさとの家で小学生にソーセージ作りを教える。参加対象を小学生の高学年にしたので、ジュニアリーダーが教える姿を見て、参加者が恵友会に入りたいと思ってくれたら良いと思う。また、恵友会の会員募集についてチラシを学校に配布している。
- (委員) 低学年を指導するような高学年を育てないといけない。
- (委員) ジュニアリーダーは聞いて何となく意味が分かるが、恵友会は聞いても活動内容が分からない。子どもからの印象を考え、活動内容が名称からストレートに伝わるようにしたらどうか。
- (委員) 文化祭について、文化団体連盟加入団体全部が参加しているのか。
- (事務局) 参加していない団体もある。
- (委員) 今年度は2団体が参加していない。
- (委員) 今年度の文化祭の見学者数はどうだったか。
- (委員) 昨年度と比較すると、見学者はやや多かった。見学者は各会場にてカウントしている。見学者数は展示日数や場所にも関係する。
- (委員長) 今までと同じような報告だが、各事業について、評価や今後どうしたら良いかということも書いてあると良い。また、スポーツ班の報告について、他の班のように事業別に記載した方が見やすいのではないか。

## (2) テーマ研究会のまとめ

### (3) 平成28年度放課後子ども教室について

※議題(2)(3)同時進行。事務局より資料に基づいて説明。

(委員長) テーマ研究会のまとめ案について、修正や削除した方が良い箇所はあるか。

(教育長) 社会教育委員として実施できることについて、各委員にいつ活動してもらおうか。チラシはいつお渡しするのか。

- (事務局) 後ほど、チラシの修正案について委員の皆様にご協議していただく。チラシが決定し次第、印刷をし、議事録を送付する際に一緒に送る、ご連絡をしてお渡しする等して対応したい。
- (教育長) 委員1人につき、10名にチラシを配布するとしても強力な周知だと思う。放課後子ども教室1回目が一色小の6月13日なので、4月から活動を開始していただくのが良い。
- (委員) サポーター募集について、いつ広報に掲載されるのか。広報で記事が出てからの方が、配布しやすいのではないかな。
- (事務局) 4月号の広報に掲載する。
- (委員長) 広報の発行日はいつか。
- (事務局) 3月25日である。
- (委員長) 表現方法等、他に意見はないか。
- (委員) 見学してからサポーター登録をしたいという人がいたら、今年度は終わっているので、来年度第1回目の6月13日の放課後子ども教室を見てからになる。
- (委員長) 社会教育委員が4月にチラシを配布できるように準備してほしい。
- (委員) チラシはカラー印刷か。
- (事務局) 白黒印刷である。
- ※事務局より、前回チラシ案との変更点を説明。
- (教育長) サポーター登録書にアクティブクラブと昔遊び名人会が書いてあるが、参加が見込まれるということか。
- (事務局) 参加を想定して記載している。
- (委員) サポーター登録をする団体がもう一つくらいあると良い。
- (委員) 星槎学園は協力についてまだ確認がとれていないのか。
- (事務局) まだ取れていない。
- (教育長) 何人サポーターがいれば外遊びが可能か。屋外でも遊ばせたい。
- (事務局) 子どもの人数による。また、屋外と屋内両方で遊ばせるか、屋外だけにすることも異なるので算定が難しい。
- (委員長) 昨日の夕方、山西小学校に多くの子どもが来ていた。一旦家に帰宅してから遊びに来ているようだ。学童の子どもたちも一緒に遊んでいた。
- (委員) 子どもたちは一旦帰宅してから校庭で遊んでいる。公園はボール規制が多いが、校庭は自由に遊べる。
- (委員長) 放課後子ども教室にこだわらず実施する方法もあるのではないかな。
- (委員) 誰かが見ていなくても子どもが自由に遊ぶのが本来の姿である。ただ、制度を作って実施する以上、安全面をフォローしないとイケない。
- (教育長) 安全に遊べる地域になることが理想である。
- (委員) 学校の昼休みは誰かが見ているのか。
- (教育長) 教師が見ている。また、子どもたちが怪我をしないよう、低学年と高学年を曜日に分けることもしている。
- (委員長) チラシはこれで進めるということでもいいかな。

- (委員) チラシと申込書を配布用としてもらえるのか。  
(事務局) そうである。  
(委員) 申込書は生涯学習課へ持参すれば良いのか。  
(事務局) 持参する以外に、FAXやメールでも受付をする。サポーター募集案内と申込み様式をホームページにも掲載する予定である。  
(教育長) フェイスブックでも発信してほしい。  
(委員) 見学だけでも良いのか。  
(事務局) 事前に申し出があれば可能である。  
(委員) 何回かに分けてサポーターを募集するのか。  
(事務局) 年間を通じてホームページに掲載、ラディアンにチラシを配架する。  
(委員) チラシの配布先はどこか。  
(事務局) 地区長の会合で配布する。また、民生委員等の団体にも配布を考えている。  
(教育長) 回覧はするのか。  
(事務局) 現状は考えていない。  
(委員) 回覧をしていただきたい。地区の方に知らせるには回覧が良い。直接目で見ると、興味を持つ人がいるかもしれない。学校には配布するのか。  
(事務局) 配布する。  
(委員) 子どもの募集はいつ頃するのか。  
(事務局) 開催時期によって、募集時期が異なる。各学校別の子ども向けパンフレットを開催時期に合わせて配布する。  
(委員) 学校向けは別なのか。  
(事務局) 子ども用の参加者募集チラシは、サポーター募集とは別に配布する。  
今年度は、4月にサポーター募集のチラシを配布した。子どもの参加申込書にもサポーター希望を書く欄がある。  
(委員) 保護者の目に触れる機会が多い。配布先として、老人クラブ連合会はどうか。  
(教育長) お願いしたい。  
(事務局) そういったところも検討したい。  
(委員) 二宮高校、福祉クラブがある学校への配布、シニアリーダーズクラブ、保育士を目指している子どもがいる学校も良い。

#### (4) その他

- ・ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会（真鶴町会場）の案内
- ・ 全国社会教育委員連合組織存続のための緊急提案について

## 4 閉会